

# あいである REPORT

NUMBER  
17

Instagram



facebook



令和6年12月

728名に実家便を  
発送いたしました!

離れていても施設とつながっている 社会全体で見守ってくれている

と感じてもらえるようお願いを込めて、実家便を送りました。



## 実家便を利用されている施設職員の声

社福)阪南福祉事業会では運営する3か所の児童養護施設で、これまで33名の退所者に実家便支援を利用されています。途中で連絡不能にならないよう退所前に気を付けていること、実家便支援の活用に当たり子どもとの連絡の仕方など工夫されていることを伺いました。



★岸和田学園★



国本先生

いつも実家便の活用をさせていただきありがとうございます。岸和田学園並びにあおぞら・あんだんて・あゆみの丘がある4施設の法人で月に1度、自立支援担当職員で「すだち(巣立ち)」会議というものを開くのですが、そこで初めて実家便を知りました。

いつも園長が言います。子どもたちの支援はリビングケアももちろんだけれど、卒園してからの支援も大切だと。卒園後、一人暮らしをしながら生活する卒園生とは在園時以上に関わりが少なくなり、連絡が取れなくなることが大半だと思います。別件で約4年ぶりに連絡を取った卒園生は「自分から連絡するのは気が引ける」と話していました。その電話で岸和田学園独自の实家便を送付することを提案すると助かると喜んでいました。

あいであるさんの実家便は人と人との繋がりになると思います。切れ目のない支援の中の一つであり、生活を助けてくれる一部です。中には住所や電話番号を教えたくないという卒園生もいますが、一度施設を経由して届けてくださるので会う機会が作れるのも素晴らしいところだと思います。また、一緒に同封する職員からのメッセージもしっかり読んでくれるので、その後の連絡でのやりとりのなかで「メッセージ読んだよ」と報告してくれます。

岸和田学園では自立支援担当職員を配置し、一人暮らし体験を行いながらSSTに似た独自のリビングケア「すだちナビ」・卒園生を中心にしたアフターケア・実家便やスタート資金などの事業の活用・年賀状や法人行事の案内などを行っています。

卒園生と連絡を取って途切れることも少なくありませんが、幼少期に入所して10年後20年後などに岸和田学園に突然訪問してくることもあります。自立支援担当職員だけでなく、園長はじめ、生活担当職員が一人一人関わりを密に取り、信頼関係を築いているからこそ帰って来れる場所があると卒園生が思ってくれているんだと思います。

関係の糸が切れないようにいつまでも岸和田学園は子どもたちを見守っています。



★あおぞら★



文野先生

あおぞらでは、平成29年より「実家便」を利用させていただいております。3月の退所前の本人と自立支援担当職員との面談では、必ず「実家便」について説明し、必要の有無を確認することが恒例となりました。その際には、卒園生からそういった支援がある事を聞いて知っている子どもも多く、「実家便」が卒園後の支援の一つとして浸透していることを実感しております。

初回にいただける防災グッズは、必要と感じていても自分で用意するには何から始めればよいのか分からない卒園生にとって、防災の備えの基本となるものが入っているので大いに助かっているようです。

あおぞらでは在園中より、退所予定者と連絡先を交換したり卒園後に必要な知識を学んでもらうための機会を設けたりし、コミュニケーションを取るようしています。卒園後は、今の若者が頻りに利用しているインスタグラムも繋がるチャンスとして利用しています。施設の様子について「庭に桜が咲いたよ」「近所にスターバックスが出来たよ」などと発信したり、LINEで「私は風邪気味、〇〇さんは元気？」など送ったり他愛のないやり取りを日頃から行うよう心がけています。繋がっている事を意識してもらえるような機会を作り困り事が出来た時にふと思いついてもらい相談先の一つとなれるようにとの思いで行っています。

実家からの仕送りのように毎年2回食糧が届く「実家便」は、卒園生にとって経済的に助かることはもちろん、支援してくださる方のあたたかさ、繋がりを感じられるものとなっています。施設としても、「実家便」を活用させていただきながら卒園生と繋がりが続けられるよう、努力していきたいと思っております。



★あんだんて★



久保先生

当施設では令和3年より実家便を利用させていただいております。今年度は6名の卒園生にご支援いただきました。卒園生へ実家便利用の案内をすと、「こんななんなん!」「いつから!」と期待を膨らませ、「ぜひ利用したい!」と答えてくれます。

当施設では実家便を直接卒園生の自宅へ送っていただいています。発送予定日の案内、到着したかの確認、実家便の感想と、実家便を通して計3回は必ず卒園生に連絡を取っています。実家便がきっかけとなり「そういえばさ...」「今こんなんで困ってるねんけど」と、話が膨らむことも多くあります。頻りに連絡をくれる卒園生もいますが、そうではない卒園生に対してはこのようにして連絡を取り、近況や悩みについて聞くことができています。実家便が卒園生と繋がるきっかけとなっています。

実家便に同封するメッセージは自立支援担当職員からだけでなく、当時の担当職員からも書くようにしています。職員からのメッセージを読んで「泣けてくる」と連絡が来たこともあります。

卒園後は仕事や学業、生活面でつまづき、困っている卒園生が多数います。金銭管理が難しく困窮する卒園生や、仕事が多忙で食事もままならない卒園生もいます。新生活に対して自由で楽しいという感情と裏腹に、不安や孤独も感じていると思います。そのような中で実家便の支援があるということは、卒園生だけでなく職員にとっても安心できるものとなっています。実家便は、卒園後も多くの方々に支えられているということを実感できる大切な存在です。施設だけでなく、社会全体で見守られていると感じることが孤独感を軽減させ、支援へと繋がりがやすくなると考えています。

今後も実家便の支援を通じて卒園生との繋がりを継続し、一人ひとりに応じたアフターケアを行っていききたいと思います。よろしくお願いたします。



『令和6年度12月継続支援者』  
へ発送した実家便

※協賛品(寄贈品)については、その都度変わります。

お米の購入費用として  
助成金をいただきました!

公益財団法人  
お金をまわそう基金



最後の実家便最終回を受け取った子どもから、  
施設の先生、支援者の方へ宛てた、直筆のメッセージが届きました。  
一部をご紹介します。



今まで実家便を送っていたが、  
ありがとうございました!!  
一人暮らしをしている私にとっては、とても  
ありがたい支援でした。  
これからも無理せず頑張っ  
ていこうと思います。

実家便

5年間ありがとうございました。  
一人暮らしをしていたため、食費もかかる  
為この実家便が届くととてもわくわく  
嬉しかったです。  
施設の人とは普段あまり連絡は  
とりませんが、実家便と一緒に入  
るメッセージを読んで元気け  
られたし、連絡をとってみようかなと  
思うこともありました。5年間の間  
で色々なことがありましたが、実家便  
のおかげで元気げられたこ  
ともありとても感謝しています。  
ありがとうございました。

実家便

手紙は、施設の職員さん、支援者の方、その他  
関係者の方へ、今更本当にありがとう!!  
皆様の温かい心遣いのおかげで、  
あたり前の功に受け取って、  
今回で最後... この支援はあたり前  
ではない事、皆様の支えや思いやりを  
実感することができました。  
本当にありがとうございました!!!

実家便

2025年4月1日より

<https://idealideal.org/>にてご確認ください。



新規募集  
開始!!

実家便及びマネークリップレクチャーの  
新規募集を開始します!

※募集要項を2025年4月1日に当財団法人のホームページに掲載します。

マネークリップレクチャー  
を利用されている  
施設職員の声

マネークリップとは?



あいであるオリジナルのレクチャー  
カードを使って、お金の使い方や生活  
費のやりくりを体験をし、自活のシ  
ミュレーションを行うゲームです。  
施設職員の皆様に体験していただき、  
施設内での子どもの自立に向けたシ  
ミュレーションゲームとして取り入れ  
て頂いています。



みどり自由学園  
青木先生

当施設では、2018年からマネークリップレクチャーの活用を始めました。児童らの自立に関して、「お金の管理」というものは非常に大切です。将来の話やお金の話をして具体的想像することが難しく、本当に理解できているのだろうか、きちんと伝わっているのだろうか、と感じておりました。

マネークリップレクチャーを知り、実際にまず職員で体験させていただきました。ゲーム形式なので分かりやすく、大人でも非常に楽しく取り組む事が出来ました。これはぜひ取り入れたいと思い、早速児童にもマネークリップレクチャーを実践しました。

ゲーム感覚で学べるため、児童らの出席率も高く、わいわいと良い雰囲気を取り組んでいます。アルバイトをしたことがない児童は給与明細というものを初めて見たり、総支給額と手取りが違うことを学びます。また、物件情報などを見る機会もないので実際の物件を見比べて、なぜこちらの方が安いのか、どのようなメリットデメリットがあるのか、などを考える事も出来ます。4月は給与が入らない中で生活しなければいけない事、給料日の前にはお金が無くなるので節約しなけ

ればいけない事など、ゲームの中で学びます。

楽しみつつも、避けられない出費や急な出費、給与以外にお金が入ってくることは実はほとんどない事を学んでいます。また、自分たちのオリジナルカードも作成できるため、実際に自分が欲しいものを記入したり、身の回りで起きたトラブルを記入し、よりリアルなゲームになっていきます。マネークリップレクチャーの中で手元のお金を貯めようと、買い物ずっと我慢する、という児童もいます。実際に我慢できる?おやつも買わなくていい?と助言すると、「そっか、全部我慢したらストレスになるもん。」という発言もありました。お金を貯める事は大切ですが、節約をし過ぎてストレスを溜めるのはあまりおすすめできません。

お金を一番持っている人が勝ち、というゲームではない事、自分と相談しながら上手にお金を使えるようになることが大切であることを伝えています。また職員にも学んでもらい活用できるように、毎年職員向けのマネークリップレクチャーも実施しています。